

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (ダイキンHVACソリューション東京株式会社)
北関東営業本部長野営業部

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			毎年、企業倫理自己点検を行い、全従業員が規定やマニュアルに則った行動を行っているか点検している。 企業倫理相談窓口を設置している																	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			ハラスメント防止に関する情報を共有し、従業員の知識向上を行っている。企業倫理相談窓口を設置している。					  			  		 						 	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			労働基準法などの内容を確認し、従業員の労働時間等をWEBIにて管理し、必要都度上長から指導を行うようにしている。								 									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			就業規則にも記載しており、企業倫理自己点検にて確認を行っている。								 		 							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			自社作成の安全のしおりを基に、安全知識や各種作業の注意点・熱中症やコロナ対策など教育を行っている。																	
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			メンタルヘルス対策の一環として、ストレスチェックを実施している。個々人のストレスの度合いを知り、本人の申し出により産業医との面談を行っている。																	
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			定年後の再雇用制度や、再雇用満了後の個別契約などを整備しており、働く意欲のある方に活用いただいている。採用時に占める女性の割合を30%以上としている。					 					 							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			経験年数や職種に応じた各種研修制度を実施している。								 									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			各種労働法改正を把握し、改正の内容に沿うように対応している。								 		 							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			従業員に対する年2回の健康診断、産業医による健康相談の実施を定期的に行っている。																	
11	環 境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			ISO14001にて、一般廃棄物・産業廃棄物等の管理を実行している。											 						
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			ISO14001にて各種エネルギーパフォーマンスの実績管理を行っている。																	
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			ISO14001にて各種エネルギー管理及び削減に努めている。							 					 					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			冷媒など規制されているものの把握及び、冷媒漏洩抑制に取り組んでいる												 					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			環境に配慮した製品の販売を行っている。環境社会検定 (ECO検定) の取得を推進し 個々人の知識向上を行っている。							6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			ISO14001にてグリーンハートオフィスという評価基準を設け3Rに取組んでいる。											13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			水道利用量を把握し、人員あたりの使用量として増加しないように取り組む。							6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			ISO14001を取得している。				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			今後の検討課題。													12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			一部事業所は太陽光発電を行っている。その他事業所への展開やグリーン電力の使用など検討課題。								7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			社有車の選定時にハイブリッド車など環境に配慮した車を指定している。													12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			社内規定に刑罰法規に違反した者の処分等記載している。年に1回社内教育を実施している。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			企業倫理ハンドブックにて、自由な競争と公正な取引として独占禁止法について周知している。年に1回社内教育を実施している。																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			企業倫理ハンドブックにて、知的財産権の尊重並びに保全を周知している。年に1回社内教育を実施している。									8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			企業倫理ハンドブックにて、個人情報の適切な取り扱いについて周知している。また、企業倫理自己点検を行い、個人情報の適切な管理と活用に対し周知している。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			ダイキンでは調達取引先の皆様と連携しサプライチェーンの透明性を高めて、適切な鉱物調達に取り組んでいる。																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応 (ハラスメント・汚職・贈収賄防止) について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			事業パートナーに対して適正な取引が励行されるように管理部門が入った中での検査・監査を行い属人化した仕事にならないようにしている。						5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】 (R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			ダイキン工業として作成・公表しており、登録をしている。				3				8	9	10							17	

項目 番号	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			製品安全自主行動指針に基づいた商材を販売している。また工事については安全しおりに基づいて行動することを安全確保に努めている。			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			製品安全自主行動指針に基づいた商材を販売している。									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			お客様からの要望などを、社内システムにより設計へフィードバックしている。						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			ご要望頂いたシステムにて、環境配慮型製品を選定するようにしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			地域最寄り化を推進し、エリア毎の課題を抽出するとともに解決に向けた商品・システムを提供している。				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			今後の検討課題。				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			地場で発電された電気を積極的に購入することを検討する。								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			経営理念、経営目標及び予算等共有している。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			企業倫理自己点検を実施し、法令遵守を徹底している。																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			社内にて環境委員会を組織している。																16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			理念に基づき、積極的にユーザーとの対話を大切にし、そこからの課題抽出をするように心掛けている。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			ISO14001にて、環境側面を把握し取組計画を策定するなど行っている。																16	
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			ダイキン工業のサステナビリティレポートに基づいて社会的責任を果たすべく取り組んでいる。																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			安全衛生委員会を中心にして災害時の避難場所の周知、交通事故の共有等を行いながら、事業継続計画を打合せしている。									9		11		13 13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			グループ会社全体として対応を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定